特42
842

上巻のつき　縁数のきざしなり

とりひ海ぢ屋と止まりあべ
数ひ八千余よりて七孫万家と
家の後に大徒生をちぐ其ごとも
千名名よ生へもて又大至と企て

関口隼人

あべ世のきうもとの人
ども

未世末表
うう海ぢ海の

由井正雪

会二出雲荒示
と爲びいづ
えんぞ人へ
一代名へ
末代
繁
大
至

次へ

つゞき 成敗

せぶとも素直
名を惜
れとこゝ
美へとき宗
ひいあそび
武士の
こたりめ

楠不傳

▲大ぜいとこ
どそのべ素
一ッの助けと
ぶさせんと
縫へと

同娘小方

❶切支丹と
ゆびぶく
悪魔三形
一礼と述べ
あそび平戸
と義長
花お花婆
の山
ごとじ
遠ふ
ぶ
見ーく
えこ

きで
蔦
絡
竿と水面へ投げ
入ふさび
哭しゃ
きち
愛ー
ぶ
うち
切と平地のごー
とこん切支丹
彩法
大ぜと企
ぶ
ひ

正雪

△宗
ぎ
幸法と
夫文地理❶

辻
帰りー
夜
のよ
一個の
浪人
雪よ
ぎれ
よる
角と
ぶさ
ぶ
辻

つぎ

白ひ紙ごとく
あをなりさま
侍とうつさん
曲者どざん
あまどど踊り
出かの源人よ
戦ふと石
茶会
小万
まども双方一点
のうちもくいまぐ
鶏頭の男人ざまべ
ぐひみ指名と
関ひるる

鶴野九郎左衛門

かの者人金井
若名家と名
のるこ出るも又
指名となりし
和泉しに源の井
後と言ー
金きこの再
来とうく約ー
ニまとう徒と
別ちる後中

正雪

との金井若名家とうく
ニ出る憑様のきざこと大坂の
一ねと言ん金井半兵衛とうく
との若名家ゲとるり者ニ入

▲きこ雪い紀州和歌山
よりり武州の所領賞に
年人ゲ数坊入り是と
丘づるこ大綱えとの
一家中ニとう入り切△

人ての関と
鶴ヒ密ま
悲ーなる者
嘆方ま引
入まんと
後りる
鶴ま正
者ま数
則ち和泉
中ニ逃留
せ又ま
変水帳と出
面ーヒ源様
ゆまま

つぎ

つゞき

楠不傳

水嶋主水

由井正雪

楠不傳

丸橋忠弥
由井正雪
柴田三郎兵
金子十郎

吉田初右衛門
金井半兵

つぎ
丸橋忠弥

楽田三郎左衛門
国芳画

つづき

▲[illegible]

次へ

由井正雪

▲[illegible]

▲

つぎき
九橋忠弥

加義
どの大ひあ
きめひて
逃所
五月廿日

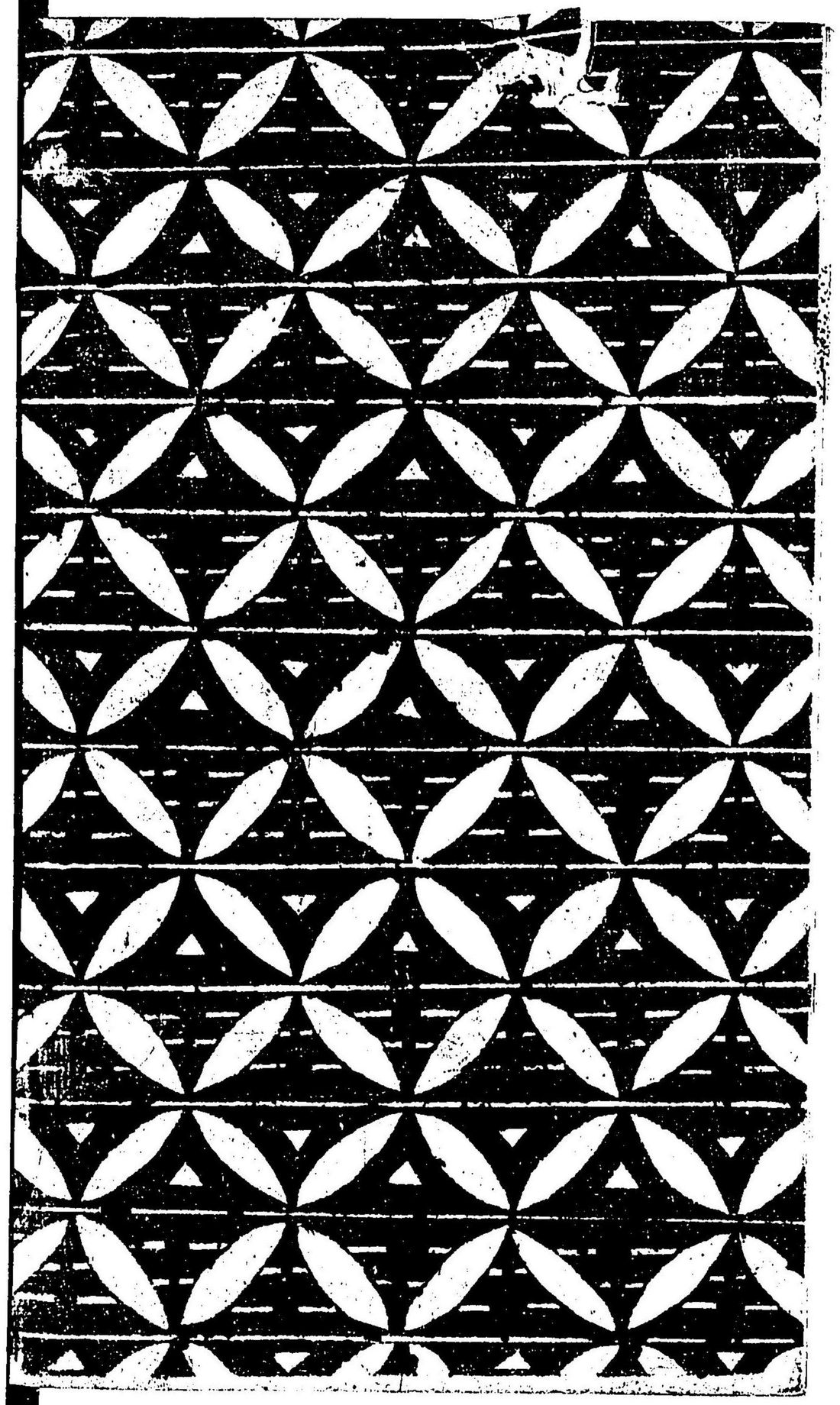
坪田左次馬
宿屋の娘

由井正雪
松田弥忝七
鵜野九郎右衛門

御届 明治十三年九月二日
本所緑町四丁目五十一番地
編輯兼出版人 荒川吉五郎

石川五右衛門一代記
明治十三年七月十有出版御届

鬼神の於会　全二冊

水戸黄門記　全二冊

地本錦繪おろし　本所緑町四丁目五十一番地
荒川吉五郎版